

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2 単位	学年	1 学年
学科	環境化学科	コース		教科書	工業技術基礎（実教出版）		
副教材							
学習目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な資質・能力を育成する。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	1 オリエンテーション 工業技術基礎とは	・自作実施要領に基づいて、実習の実施内容を理解しているとともに、主体的に取り組む態度を身に付けている。	○		◎	
	5 月	2 基礎実習 (3班編制によるローテーション) (1) 工業技術基礎を学ぶにあたって	・事故防止の徹底と安全教育について理解して、取り組もうとしている。	◎		○	
	6 月	(2) 化学実験の基本操作	・ガラス器具等の名称を憶えて、使用することができる。	◎	○	○	
			・薬品の取り扱い方を理解して、安全に採取することができる。	◎	○	○	
	7 月	(3) 知的財産権（産業財産権）	・固体の溶解度を理解して、実験でそれを検証することができる。	○	◎	○	
			・産業財産権（特許権等）について理解して、プリントを解答することができる。	◎	○	○	
2 学 期	8 月	(4) 金属銅から硫酸銅を製造する	・著作権を理解して著作物をつくることできるとともに、日常生活に活用できる。	○	◎	○	
	9 月		・安全を確保するために必要な知識を身に付け、その知識を的確に活用している。	◎	○		
	10 月		・積極的に実習に取り組むとともに、操作の手順を判断することができる。		○	◎	
	11 月	3 本実習 (3班編制によるローテーション) (1) 食用油から粉石けんの製造	・実験操作を理解している。	◎	○		
			・薬品の危険性を理解して、適切な取り扱いができる。	◎	○		
	12 月	(2) 電子ピアノの製作	・実験操作を適切に行い、製品を完成することができる。	◎	○	○	
3 学 期	1 月	(3) 牛乳パックからはがきをつくる	・組立手順を理解して、製品の完成に向けて真剣に取り組んでいる。	○	○	◎	
			・製品を完成することができる。	◎	○	○	
	2 月		・生産に関する技術の基礎的な内容やその必要性を理解している。	◎	○		
			・実習に対して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。		◎	◎	
	3 月		・実際に使用可能な製品を作ることができる。	◎	○	○	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・作品の完成度、およびノートの記録や感想なども評価して総合的に判断する。
------	--------------------------------------